

あなたのお悩みは何ですか？

悩みを解決する作品を、自信をもってご紹介します！

学校生活

学校のことで悩んでいるキミへ

P10 P11

学業

部活



家族

友人

先輩

後輩

片思い

両思い

憧れ

性

将来

これからの自分に不安をもつキミへ

P16 P17

夢

生き方



P09

悩み別 おススメ本



P08

『ラブオールプレー』

著者：小瀬木麻美
ポプラ社 2022年4月



『宿神』全4巻

著者：夢枕獯
徳間文庫 2022年1月



学校のことで悩んでいるキミへ



THE 青春

王道のスポーツ青春小説。中学3年生、バドミントン部所属の水嶋は、バドミントン強豪校である横浜湊高校にスカウトされ、そこで出会う人々とともに部活動に「邁進」していく。部活で感じる辛さや熱さに共感できる作品。漫画・アニメ化もされていて、文学への入り口、ファーストステップに最適。

部活

文学「で」学ぶ

平清盛や西行らが登場する平安の動乱期を描いた歴史小説。歴史への興味から文学を楽しむか、文学のおもしろさから歴史を勉強するか。文学作品で勉強するという、新たな文学の扉を開いてみてほしい。

学業

『風が強く吹いている』

著者：三浦しをん
新潮文庫 2009年6月



『一瞬の風になれ』

著者：佐藤多佳子
講談社文庫 2009年7月



『教室はまちがうところだ』

著者：蒔田晋治 絵：長谷川知子
子どもの未来社 2004年5月



『カーテンコール』

著者：加納朋子
新潮文庫 2020年8月



人はなぜ走るのか？

学生寮「竹青荘」に集った10人の学生たち。ほとんどの学生が「走り」の素人のなか、箱根駅伝を目指して練習を始める。「走ることが嫌いな」学生たちが苦しみを感しながらも「走り続けていく」姿に、スポーツの痛快さ、爽快感、達成感を感じられる。スポーツや部活をやっている人はもちろん、やったことのないあなたにも読んでほしい。

部活

風は一瞬、友情は一生

才能あふれる兄へのコンプレックスを抱いていた新二は、幼い頃から続けていたサッカーに限界を感じていた。同じ中学の一ノ瀬の走りにあこがれた新二は高校で陸上を始め、その才能を開花させていく。新二の語りに読者はいつの間にか引き込まれ、友情・恋・青春全開の物語に魅了されること間違いなし。

部活

間違えない者はいない

意見を求められたときに、なかなか答えられないことがある。それは、間違えることが「恥ずかしい」から。しかしどうだろう。誰だって間違えるし、目の前の先生だって間違える。「聞くは一時の恥聞かぬは一生の恥」。間違いを恐れずに一歩踏み出してみる「勇氣」を与えてくれる作品である。

学業

落ちこぼれだってやれるんだ！

近々閉校されることが決まった女子大。卒業がアヤシイ「落ちこぼれ」の生徒を救うべく補講合宿が行われることに。コミュ障、拒食症、自殺願望など様々な悩みを抱える生徒たち。理事長の助けを借りて悩みを克服するべく前進していこうとする彼女たちの姿にパワーを得られること間違いなし。

学業

『マウス』

著者：村田紗耶香
講談社文庫 2011年3月



『終点のあの子』

著者：柚木麻子
文春文庫 2012年4月



人間関係に悩んでいるキミへ



女の子のリアルな関係

朱里と希代子を軸に、女子高生たちの関係性を描いた物語。単なる「仲良しこよし」ではなく、「ちょっと疲れてしまうこともある」「リアルな人間関係を、リアルな言葉で表現した作品。負の部分を抱える登場人物が成長していく姿に、友人関係の悩みに立ち向かう勇気をもたらすはず。

本当の自分を探して

内気な律は小学校のクラス替えをきっかけに瀬里奈と出会う。病的なまでに臆病な瀬里奈には物語の主人公になりきることができる能力があった。律に読んでもらった本をきっかけに別人に変わった瀬里奈と、その変貌ぶりとまどう律。「仮面」を被った自分と「スッピン」の自分。本当の自分とはいったい何者なのだろうか。

友人

友人・運命の人

おすすめ作家紹介

赤川次郎



『三毛猫ホームズ』シリーズ
角川文庫 1984年～



『セーラー服と機関銃』
角川文庫 2006年9月



あかがわじろう
赤川次郎

赤川次郎は、コミカルでユーモアあふれる作品や、ミステリー作品を数多く出している作家です。代表作は、「三毛猫ホームズ」シリーズや「セーラー服と機関銃」などがありますが、ジャンルは様々です。赤川作品を読むときのポイントは、「言葉の優しさ」です。作品の中には残酷なストーリーのものや刺激が強いものも少なくありません。しかし、そんな作品でもどこかに人間の優しさ、人間らしさが現れる言葉が紛れていることが多いです。ぜひ赤川作品を手に取り、その世界を堪能してみてください。

『タダイマトピラ』

著者：村田紗耶香
新潮文庫 2016年10月



『空をこえて七星のかなた』

著者：加納朋子
集英社 2022年5月



7つの星を結ぶ母親の愛

星にまつわる7つの短編集。様々な場所、時間、人によって紡がれた、一見関係のない物語たちが最終話でつながっていく。親の無償の、そして偉大な愛を感じることができる。誰も傷つけない、加納朋子によるミステリー。読んだ後に親の顔が見たくなる。

家族・友人

「カゾク」ってナニ？

ネグレクトを受ける少女、恵奈。家族愛を求める彼女がその欲を満たすために行う「カゾクヨナニ」。しかし望んでいたはずの「カゾク」を手に入れた恵奈はそれに嫌悪感を抱いてしまう。家族とはいったいナニモノなのだろうか。家族に対する悩みをきれいで終わらせず、村田流の切り口で問題を暴き出す。家族関係に悩むあなたにおすすめの一冊。

家族

『きみはポラリス』

著者：三浦しをん
新潮文庫 2011年2月



『明け方の若者たち』

著者：カツメササヒコ
幻冬舎文庫 2021年11月



恋に悩むキミへ



恋愛小説の北極星

様々な恋愛のかたちを網羅していく、いわば「恋愛図鑑」。三角関係、同性愛、片思い、家族間での恋愛、不倫、果てには動物から人間への恋!! 多様な恋愛の形を描く恋愛短編集。恋って何だろう? 愛って何だろう? 恋愛にあるこがれる君が抱える悩みにきつと応えてくれるはず。

片思い・両思い・憧れ

「オトナ」の恋を覗き込む

明大前にある沖縄料理屋での飲み会。大学生の「僕」はたまたま出会った「彼女」に一瞬で恋をする。就職、妥協、挫折。20代というかけがえない「人生のマジックアワー」を駆け抜ける「僕ら」の、切ない「オトナ」の恋を描く。

片思い

『うみべの女の子』

著者：浅野いにお
太田出版 2011年3月



『おれがあいつであいつがおれで』

著者：山中恒
角川書店 2012年8月



『サラダ記念日』

著者：俄方智
河出文庫 2016年8月



『檸檬のころ』

著者：豊島ミホ
幻冬舎文庫 2007年2月



全員、片思い。

田舎で暮らす小梅は片思いしていた先輩・三崎にふられた当てつに、自分に片思いしている磯辺と初体験に及ぶ。その後肉体の関係を続けるも、「うみべの女の子」の写真をきっかけにして小梅が磯辺に依存していくようになっていく。それぞれの登場人物が片思いしている複雑な男女関係に、恋とは、愛とは、性とは…と考えさせられる。

性・片思い

ジェンダーを考える

わんぱくな斉藤一夫とその幼なじみの斉藤一美の心が入れ替わってしまう、入れ替わりモノの元祖。「男らしさ」「女らしさ」を求められ苦しむ主人公たち。自分自身にとって「性」とはいったいどのようなものなのか。考えを深めるための一冊としてほしい。

性・片思い

「ニガ酸っぱい」連作青春小説

とある地方の高校「北高」をめぐる、高校生たちの恋愛を描く連作短編集。片思い、三角関係、友情。彼らの恋模様は「レモン」というより「檸檬」。苦ささえ感じる、まさに「ニガ酸っぱい」恋愛のありさまは片思いの痛みを慰めてくれるかも。

片思い

三十一音のラブレター

突然だが、七月六日は何の日だろうか。答えは「サラダ記念日」。なぜかって? 「この味がいいね」と君が言ったから。日常の中でふと感じるパートナーへの愛情。これが三十一音に込められる。短い言葉で表現されているのにもかかわらず、生活感あふれる彼女の言葉にシンパシーを覚える人も多いはず。

両思い

くえきれっしや
『苦役列車』
にしむらけんた
著者：西村賢太
書新潮文庫 2012年4月



『コンビニ人間』
著者：村田紗耶香
文春文庫 2018年9月



これからの自分に不安をもつきみへ



「普通」は「異質」？

恵子は「普通」の感覚がわからない。そんな恵子が社会とつながって生きていく方法が「コンビニ店員」であった。一見、「普通」な人々も恵子を通してみることで、その「普通」が「異質」に思えてくる。「普通」とは何か。自分自身の生きる目的、テーマを考えるきっかけとして読んでほしい。

生き方

未来は明るいばかりではない

中卒で働きに出ざるを得なかった真太が、家庭の事情や自らの言動によって苦しみがらもなんとか生き抜き、小説作家になるまでの物語。どうしようもないほど「クズ」な主人公が、他人を僻み妬み嫉みつつも懸命に生きていく姿から、生きるためのエネルギーが得られる。言い回しや言葉が難しい作品ではあるが、ぜひチャレンジしてほしい。

生き方

おすすめ作家紹介 三浦しをん



『風が強く吹いている』
新潮文庫 2009年7月



『舟を編む』
光文社 20011年9月



『まほろ駅前多田便利軒』
文春文庫 2009年1月



三浦しをん

三浦しをんは、幅広い世代に人気の作家です。作品のジャンルは恋愛や青春ものなど様々なですが、その魅力は何とんでも「リアル」であることです。登場人物の気持ちや、場面の描写がとても繊細で読みやすい作品が多く、ストーリーがスツと体になじむような感覚を覚えます。代表作には『舟を編む』『風が強く吹いている』などがありますが、中でも『まほろ駅前多田便利軒』という作品の舞台は皆さんの住む町田市がモデルとなっています。豊かな人間模様がリアルに描写されたストーリーをぜひ味わってみてください。

『ソラニン』
著者：浅野にお
小学館 2017年10月



『スーパーカブ』
著者：トネコケケン
角川スニーカー文庫 2017年5月



広い世界へ飛び出して行け

両親なし。友人なし。趣味なし…。ないない尽くしの内気な女子高生が中古バイクの「スーパーカブ」を手に入れたことをきっかけに世界を広げていく物語。趣味が自分の世界をどのように豊かにしてくれるのかが描かれる。はじめは何もなかった女子高生が夢を見つけていく姿は、やりたいことが見つからないあなたに深く刺さるはず。

夢

夢とは、あがき続けること

社会人2年目の芽衣子は社会への不満・将来への不安を抱える日々。同棲相手の種田は夢をあきらめきれずにバンド活動を続けている。支えあひながら夢を追いかけた二人と仲間たち。必ずしも追いかけた夢がかたうことはない。だが、そこに向かって挑戦し、時には挫折し、それでもあがき続けていく姿に強く励まされる。不安を抱えながらも前に一歩進む姿勢は「力」を与えてくれるだろう。

夢